

ヨコハマこんなマチになりました

横浜市バリアフリー基本構想 Before/After

二俣川駅周辺エリア

二俣川駅周辺エリアは、二俣川駅からおよそ500mから1,000mの範囲の徒歩圏に「神奈川県立イトセンター」などの福祉施設や「神奈川県運転免許センター」などの公共施設、「神奈川県立がんセンター」などの医療施設、商業施設なども集まる、多くの人が活動するエリアです。

そこで、様々な立場の人々が、分かりやすく安全に駅や施設・道路を利用できるように平成24年5月にバリアフリー基本構想を作成しました。

くわしくは
以下のHPで



「バリアフリー基本構想」とは

鉄道駅等の旅客施設を中心とした地区等で、高齢者、障害者などが利用する施設が集まり、施設間の移動が通常徒歩で行われる地区（重点整備地区）において、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために作成する構想のことです。

「バリアフリー基本構想」では重点整備地区の範囲、バリアフリー化のために実施すべき事業（特定事業等）の内容等を定めます。個々の施設のバリアフリー化だけではなく道路と施設等の連続性を確保したバリアフリー化のために基本構想を作成します。

横浜市ではこの基本構想に基づいて、まちのバリアフリー化を進めています。

「バリアフリー基本構想」に基づいた整備事業

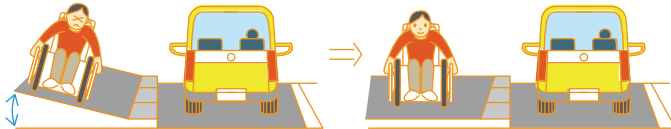
「バリアフリー基本構想」に基づいて、各事業者が重点整備地区内のバリアフリー化の事業を実施します。

- 公共交通特定事業（旅客施設等のバリアフリー化に関する事業）
- 道路特定事業（歩道等のバリアフリー化に関する事業）
- 交通安全特定事業（音響式信号機の設置等に関する事業）
- 建築物特定事業（建築物のバリアフリー化に関する事業）
- 都市公園特定事業（公園のバリアフリー化に関する事業）
- その他の事業（その他のバリアフリー化に関する事業）

バリアフリーの豆知識

歩道を平坦にする取組

横断歩道に接続する歩道部や車両乗り入れ部では歩道の勾配が急になっている場合があります。歩道の勾配は、車いす使用者、高齢者、ベビーカーや歩行器での歩行、その他障害者等の通行に配慮してできるだけ小さくし、平坦性を確保しています。



発行 横浜市道路局 計画調整部 企画課 令和4年4月発行

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

電話番号：045-671-4086 ファクス：045-651-6527

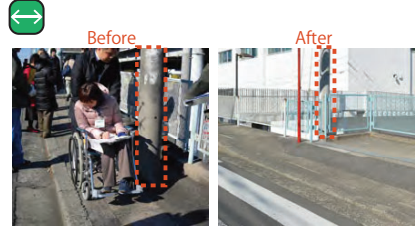
メールアドレス：do-barrierfree@city.yokohama.jp

ホームページ： <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jisyokikaku/barrier-free/bf.html>

横浜市バリアフリー基本構想



電柱の移設及び歩行空間を広げました。



旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ
看板を設置し、入口を分かりやすくしました。



バス停「二俣川銀座」
看板の向きを変えて歩行空間を広げました。



視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。



二俣川駅北口共同ビル
スロープの床を滑りにくい素材へ、視覚障害者誘導用ブロックを分かりやすい色へ変えました。



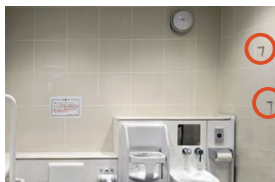
アルコット二俣川
階段手すりを2段にしました。階段の先端に色を付け、段差部分を分かりやすくしました。



二俣川駅北口バスターミナル
バスターミナル出入りのために係員を呼んでいたものをゲート式にし、いつでも通行できるよう改善しました。



二俣川駅
バリアフリートイレに荷物をかけることができるフックを設置しました。



二俣川駅南口交通広場
歩道を下げてタクシーに乗りやすくしました。



バスのりばへ視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。



バスの行き先別に色分けをするなどのりば案内をわかりやすくしました。



西友
歩道から入口へ視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。



凡例	
	歩行空間の確保
	歩道の平坦性の確保・段差の解消
	視覚障害者誘導用ブロックの整備
	音響式信号機の整備
	スロープの整備
	生活関連経路
	重点整備地区